



# 神奈川の風

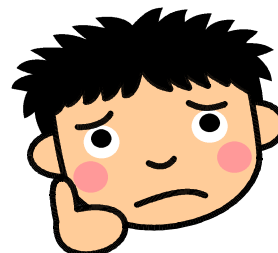


平成28年1月29日号

校長 吉江 明洋

## < 生き方を考える >

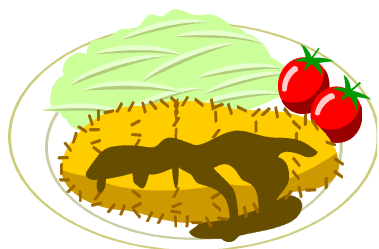
人は誰でも自分の失敗や弱さを隠そうとします。そこには、恥ずかしい、怒られるから等、様々な理由が隠されていると思います。しかし、いけないことをしたと分かっているが素直に認めようとしない…。誰が見ても君がいけないのに、自分一人で言い張って知らん顔しようとする。あげくは逃れられないと分かったら、今度はふてくされる。



「適当にごまかせば何とかなる」そんなずるいごまかしを重ねる生き方が身につけてしまうと、社会に出てから取り返しのつかないことがおこりそうな気がします。

その場はごまかしたつもりでも、見ている人は見ているし、知っている人は知っているのです。もし誰も見ていなくても自分自身は知っているのです。自分の気持ちにまで嘘をついて生きるのは、苦しくてとても悲しいことです。

ごまかしは得ではない。ごまかしの数が多いほど信用と信頼はなくなっていくのです。特に君達は中学生ですから、家族や先生方は「いつかは気がついてくれるだろう」と嘘と知りつつ深く追求しないこともたくさんあります。そんな大人の配慮に気がつかず、いい気になって一時的には言い逃れて得した気分かもしれませんが、そんなことを繰り返していると、結局は自分だけでなく信じてくれた家族も巻き込んで後悔することになります。



最近、世間を騒がせた廃棄食品の横流し問題も同じことが言えるような気がします。気がつかなかったミスならまだしも、許されないことと知っ<sup>て</sup>いながら「儲ければいい」との私利私欲のためだけで、他人へ甚大な被害を考えずに平気でやってしまう一部の人の甘さが、頑張っている社員も大勢いるはずなのに、その会社全体への不信感となり、取り返しのつかない重大事に発展してしまう。

「いけないことはやってはいけない」というあたりまえの意志を持てずに平気で行った自分の甘さ、ずるさを反省する姿勢も見せず、何とか言い逃れをしようとする姿を見ると、言いようのない怒りを感じます。言い訳をせずに素直に認めて、心から謝って必死に改善に向けて努力する姿勢を見せることはできないのでしょうか。

人生は目先の損得だけを考えるものではありません。稼いだお金の額が人や会社の価値を決めるものでもありません。人生で一番大切なことは、社会生活の中で周囲の人たちと調和を取りながら、人のために自分のために意欲を持って誠実に生きていくか…なのです。

「ごまかさず自分の非を素直に認めることから成長が始まる」。さて、現在のあなたの生き方はどうでしょうか。